

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 27 年 4 月 20 日 (N0.52)



浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所

1. 子ども像の共有

小中一貫 CS を進めるためには、まず、学園が目指す子ども像(学園教育目標)の共有が必要です。

そのためには学園 CS 委員会などで熟議を重ね、共通認識に立つことが大切です。

2. パワーアップアクションプランの作成

アクションプランとは 学園が目指す子ども像を実現するために、学校・子ども・家庭・地域が一体となり、それぞれの立場で取り組む活動をまとめたものです。(下欄に例示)

プランの項目は 学園CS委員会やPTA、教職員、児童会・生徒会などを中心に熟議をして決めます。広く意見を取り入れるために、アンケート調査なども活用します。

活用の仕方は 学校では、学校や学級の経営目標の中に位置付け、重点指導課題として取組めます。家庭では、子どもたちへの声かけや子どもとのルール作りに活用します。地域では、学園CS委員会、少年団活動、社会教育関係団体などが中心となって活動を進めます。

学校関係者評価とのかかわりは それぞれの行動目標から重点的に取り上げた項目を用い、学校関係者評価としても活用できます。

(三鷹中央学園の例 ↓)

三鷹中央学園パワーアップアクションプラン				2014年度版
三鷹中央学園 「目指す学園生像」	学校での取組	子どもの取組	家庭での取組	地域での取組
すすんで学ぶ人 確かな学力をはぐくむ	1. 魅力ある授業づくりを 実践する	1. 先生の話をよく聞く 2. 授業で分からないことが あったらそのままにしない 3. 宿題を忘れずにやる 4. 時間のけじめをつけて家 庭学習をする 5. 忘れ物をしない	1. 子どもが家庭学習に集中 できるような環境(時 間・場所)をつくる 2. 子どもが自分で予定を立て て勉強するように声掛 けをする	1. 放課後や長期休業中に子 どもたちが学べる環境を つくる 2. 子どもが挑戦できる検定 (漢検・英検・数検な ど)を行う 3. 子どもの学びを深める教 育を行う
感謝と思いやり の心をもつ人 豊かな人間性をはぐくむ	1. 互いを認め合える学級 をつくる 2. 他学年の子どもと交流 し、協力できるように する 3. あいさつ・感謝の気持 ちを伝えられるように する	1. 学校であったことについて 家で話す 2. 児童会・生徒会で交流する 3. 友達の良いところを認めたり、 思いやりのある声掛け をしたりする 4. 自分から進んであいさつを する 5. 家のお手伝いをする	1. 家庭での対話を大切に する 2. 家庭で話し合い、毎日 できるお手伝いを決め て、継続させる 3. 大人が子どもに挨拶な どの手本を示す	1. 子どもの体験を深める 活動を行う 2. 交通安全標語・ポス ターを募集する 3. 大人が子どもに挨拶な どの手本を示す 4. 小さな善行賞を実施す る
たくましい心と 体をもつ人 心身の健康をはぐくむ	1. 食育を推進する 2. 運動・部活動を推進す る 3. 時間を守り、けじめの ある集団生活ができる 学級をつくる	1. 目標をもって運動・部 活動に取り組む 2. 睡眠をとる。時間にな ったら自分で寝て、 自分で起きる 3. 時間を守って行動する 4. 身の回りの整理整頓を する	1. 子どもが早寝早起きなど、 規則正しい生活ができるよ うにする 2. (小) 子どもが食べ物の好き 嫌いをなくすようにする 3. 子どもが身だしなみや身の 回りの整理整頓ができるよ うにする 4. 子どもが約束の時間を守 って行動できるようにする	1. 子どもの体力づくり を推進する活動を行 う
地域・社会に 貢献する人 地域を愛する心と態度をはぐくむ	1. 委員会や係活動で自分の役 割をもって行動できるように にする 2. 学校行事・地域行事を通し て成長する環境をつくる 3. 防災訓練を行い、災害に備 える 4. 地域と関わる学習でつなが りを深める	1. ボランティア活動に参 加する 2. 交通ルールを守る	1. 交通ルールを守って 安全に登下校できる ようにする 2. 家庭でできる防災に ついて話し合う	1. 防災の取組を広げ、災害に 備える 2. 安全で安心な環境をつくる 3. 交通事故に遭わない環境を つくる 4. お祭りやイベントを通して、 地域社会に貢献する意識を はぐくむ 5. 子どもが困ったときに助け られる環境をつくる
推進方策	○ 重点を決め、より有効 な取り組みを実践する	○ 子どもが頑張ることを家族で共有する	○ CS委員会、青少年、交通 対、地域子どもクラブ、サ ポートネットなどの取組 ○ 広報活動	